



学校だより

小和田小学校

令和8年度夏休み号

【学校経営方針】

一人ひとりを大切に、社会力を育み、みんなの笑顔がある学校

【学校教育目標（めざす子ども像）】

「心も体も丈夫な子」「思いやりのある子」「自ら学ぶ子」

【学校経営目標（めざす学校像）】

「学ぶ喜びを感じる学校」「保護者、地域から信頼される学校」

「教職員が成長し合える学校」「心落ち着くきれいな学校」

長い夏休みが始まります

校長 山崎 悟史

7月20日からいよいよ待ちに待った夏休みが始まります。4月からの日々を振り返ってみますと、時間が経つのが本当に早かったと感じられます。それだけ私にとって充実した日々であったと改めて実感しております。子どもたちにとって前期前半はどのような日々だったのでしょうか。「楽しかったこと」や「がんばったこと」など、思い出すと自然と笑顔になれる…そのような思い出が一つでも多く残っていれば嬉しく思います。

夏休み中、学校から離れることになりますが、子どもたちが何事もなく元気に過ごしてくれることを願っております。そして、長い休みだからこそ挑戦できる体験・経験を重ね、ご家族との時間も大切にしながら、規則正しい生活を送ってほしいと思います。

ご家庭におかれましても、お子様が夏休みを安全に過ごすために、「交通安全」「水難事故防止」「外出時の注意」などの安全面について、定期的にお声がけいただければ幸いです。

8月31日、一回り成長した子どもたちが、元気により笑顔で学校に戻ってきてくれることを心より願っております。

保護者のみなさまにおかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力いただき、心から感謝申し上げます。夏休み明けからも、どうぞよろしくお願いいたします。

第1回校内授業研究会を実施しました

6月30日（火）に令和8年度第1回校内研究会があり、2年4組柴田先生の学級で、国語「こんなものみつけたよ」の授業公開、研究協議会を行いました。

本授業を迎えるまでに学年でじっくりと教材研究を行い、先行して1・2・3組で授業公開をしました。各学級の授業の展開は共通するところが多かったですが、子どもたちの反応や出てくる考え、先生がかける言葉や補助的な発問など、同じ單元でもそのクラスらしい授業を見ることができました。各々の授業からたくさんのことを学びました。授業者の柴田先生も自身の考えを大切にしながら、3クラスの授業から学んだことを授業づくりへとつなげていました。「同じ単元の授業を学年で教材研究して、授業を見合い、語り合う」こうした営みを通しての先生同士の学び合いが、学年で授業研究を行う大きな意味であることを、2年生の先生方から学ばせていただきました。

2年4組の子どもたちは、たくさんの先生たちが参観するなか、しっかり課題へと向き合っていました。グループ活動では、「はじめ・なか・おわり」の「なか」の文についてどんな順番に並べたらよいのかを伝え合いました。「なぜその順番にならべたのか」という理由を話すことができていた子もいました。先生と子どもたちのがんばりがとても伝わってきた素敵な授業でした。

講師の東京大学大学院教授 藤村宣之先生からは、「子どもの発想を生かした授業」であったことや「なか」の構成要素を捉えることはかなり高度でありそれに挑戦していること、一人ひとりが文の構成（並べかえ）について多様な考えを持っていたことなどについてお話がありました。その上で、一人ひとりの多様な考え、とりわけ少数派の考えを取り上げることで学びが深まっていく可能性があることや、ICTの活用場面、手書きすることのよさについても教えていただきました。

子どもたちにとってよりよい学びとなるよう、今後も校内研究会を通して、授業について学び合っていきます。